



# 静小だより

みがきかがやく静小の子ども

「知」 よく考える子  
「徳」 思いやりのある子  
「体」 たくまい子

「学校」「家庭」「地域」 すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

## 一時避難場所「緑町団地」への避難訓練

先週9月25日(火)に「地震・大津波発生時避難訓練」を実施しました。今回は、大津波が発生した場合の一時避難場所となる緑町団地へ避難する訓練を行いました。

**\*実際に発生した場合には団地の4・5階に避難しますが、訓練ということで敷地内に避難する訓練**

子どもたちは大変真剣に望み、地震発生時の校舎外への避難、大津波発生を想定した緑町団地への避難の際も、一人も口を開くことがありませんでした。学校長をはじめ全職員が子どもたちの姿勢に感心させられました。また、6年生が1年生、5年生が2年生の手を引いて団地まで避難する練習も行いましたが、5・6年生の力添えで1・2年生全員が安全に避難地までたどり着くことができました。なお、地震発生時の校舎外避難から一時避難場所である団地までの到着に要する時間は、津波が到達する時間に十分に対応できることを確認できました。

先日発生した胆振東部地震のように災害がいつ発生するか想定できません。想定できないからこそ、学校では「日常の指導がとても重要である」という全職員共通認識の下、今後も子どもたちへの指導を行っていきます。





## 子どもたちのとてもすてきな笑顔「静内生コン見学」

9月20日（木）に、2年生の子どもたちが田原にある（株）静内生コンにおいて、地域や自分たちの生活を支える仕事の内容や苦勞等について学んできました。現場に到着後、多くのトラックや機械、そして目の前に置かれたセメントづくりの器具に目が釘付けとなった子どもたち。目を一カ所に定めることができない様子でした。

静内生コンの職員の方々がセメントの材料やセメントが完成するまでの工程を表したスケッチを用意していただいていたので、子どもたちもセメントへの理解を深めることができました。また、セメントにそれぞれ氏名を書く体験もさせていただきました。セメントに自分の名前を書いた時に見せた満面の笑顔が素敵でした。なお、氏名を書いたセメントブロックについては、静内生コンの職員の方々が加工していただき、11月下旬以降に学校の中庭に敷くこととなっております。機会がありましたら、ご覧になられてください。



今年度も出口組様には、1・2年生児童の地域学習に寄与していただきました。子どもたちが自身が住む、新ひだか町を見つめ理解を深める素晴らしい時間となりました。子どもたちを支えていただく出口組様の思いと社員の皆様のお力添えに感謝申し上げます。



## 「重いカバン」対策に伴う、本校の具体的取組へのご理解のお願い

「子どものランドセルが重い」と、既に子どもたちの荷物の重さを懸念されている方もおられるのではないのでしょうか。小さな子が自分の体重の3割程度の重さのある荷物を背負い、登校することが今全国各地で問題になっています。さらには、発達していない筋肉に対してランドセルの重さが増したことで、首や肩、背中の痛みを訴える子どもが増加しているとのことです。

教科書等が重くなったのは、

- ①「脱ゆとり教育」による教科書の総ページ数の増加
- ②上下巻が一冊にまとめられたこと
- ③ビジュアル化やカラー化によるA4版使用
- ④紙の質の向上

等と言われており、ランドセルが軽量化されても教科書等が重くなっているわけです。

そこで、本校では、職員会議において「重いカバン対策」について協議を重ね、以下のような取組を行うこととしましたので、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

### 【具体的取組】

#### 1. 持ち帰る教科書・ノート

- 1・2年生・・・国語科・算数科
- 3年生以上・・・国語科・社会科・算数科・理科
- 担任が持ち帰らせる必要があると判断した物  
例) 家庭科で、家事について調べる宿題を出した場合など

#### 2. 「置き勉」対応

- 予習や復習（宿題や家庭学習に使用する教科）を行う教科以外の教科書は学校に置いておく。

#### 3. 「置き勉」の保管

- 各教室及び活動室において教科ごとに整理して保管をする。

#### 4. 子どもたちへの指導

- 取組の趣旨を説明し、紛失や破損につながらないように、保管に対する自己管理意識を育てる。
- 友達の教科書や物には触れない、いたづらをしない。

なお、ご家庭での方針やお考えにより、持ち物すべてをお子さんに持ち帰らせることを希望される場合には、担任までご連絡願います。なお、絵の具セット等と同様で、本人の保管ミスや放置による教材等の紛失については責任をもてませんので、ご理解願います。

不明な点がありましたら、担任までご連絡願います。(☎42-1561)

## 10月学校行事の内容の一部変更について

先日配付しました、学校便りNo.20に掲載している「10月の行事予定」において訂正があります。

23日(火)・25日(木)・26日(金)	P T A学級対抗ビーチバレーボール <b>練習</b>
	↓
23日(火)・25日(木)	P T A学級対抗ビーチバレーボール <b>練習</b>
26日(金)	P T A学級対抗ビーチバレーボール <b>大会日</b>



## SNS利用におけるモラル向上への指導のお願い

SNSによる悪口や噂が社会的な問題となっています。さらには、いじめにつながったり、不登校に追い込んだりする事例も全国で発生しています。お子さんが被害者はもちろん、加害者側にならないように支えたり指導したりすることが私達大人の重要な役目となります。ご家庭においてもSNS取扱いに関するお子さんの現状をご理解いただき、モラル向上に向けて日々ご指導願います。

児童生徒向け資料 北海道教育委員会  
平成30年9月

# 知らなかったでは済まされない、SNSの中での悪口やいじめ

➤ **リアルでもネットでも、やってはいけない行為は一緒**  
現実の社会で人の悪口を言ったり、人を傷つけたりすることはもちろん悪いことですが、インターネットの中であっても、それが罪に問われることもあります。

➤ **ちょっとした悪ふざけのつもりが…**  
SNSや掲示板サイト、グループチャットなどに以下のようなことを書いてしまったことはないでしょうか？

① 掲示板サイトに  
「〇〇中学校の△△はこの前、万引きしてた」と噂を書き込んだ

② グループチャットに  
「△△はバカだ」「△△、うざい」と書き込んだ

ちょっとした悪ふざけのつもりで書き込んだとしても、①は名営業損害、②は侮辱罪に問われる可能性があります。もし、自分の名前を明かさずに書いていたとしても、インターネットに書き込んだ記録をたどれば誰が書いたのかを調べることができます。「ネットだからバレない」ということはありません。

現実社会で守るべき義務や心がけたい道徳、必要な思いやりがあるのと同様にインターネットの中でも、ルールやモラル、マナーを守って利用しましょう。

✓ **もし、悪口を書かれたら…**

悪口や人の心を傷つけるような書き込みを見つかったり、プライバシー等を侵害されたりした場合、一人で悩まず、保護者や学校の先生など信頼できる大人に相談しましょう。状況が悪化することもありますので、返信等はひかえましょう。保護者や先生に相談しづらいときは、子ども相談支援センターに相談してみましょう。

子ども相談支援センター 電話：0120-3882-56(無料)  
メール：dokan-sodan@hokkaido-e.ed.jp

お子さんやお知りになるお子さんの名前や悪口等が書かれていることに気付かれた場合には、学校までご一報ください。【☎42-1561】